

2023年度 事業報告書

衣料管理士 (TA) 関係

◆衣料管理士(TA)資格の認定・登録

	大学正会員卒業生 [2024年3月認定]	大学正会員卒業生 [2023年9月認定]	2023年度認定・登録者
1級	366名	0名	366名
2級	190名	0名	190名
専修	5名	0名	5名
計	561名	0名	561名

◆高校生へのTA広報

◇衣料管理士ポスター、パンフレットによる高校生へのTA広報

- 全国約1,300校の高等学校の家庭科担当教員へ送付
- 会員大学のオープンキャンパスなどで活用

◇高校の関係組織との連携

- 全国高等学校長協会家庭部会（校長の組織）
 - ・出版物『家庭部会報』（購読者：校長・家庭科教員）へ広告掲載
 - ・会員名簿に広告掲載
- 全国高等学校家庭クラブ連盟（高校生・家庭科教員の組織）
 - ・出版物『Future Homemakers of Japan』（購読者：高校生・家庭科教員等）へ広告掲載
 - ・家庭クラブ研究発表大会の資料にTA広告掲載

◆大学新入生へのTA広報

- 『衣料管理士パンフレット』を製作し、会員大学新入生へ広報

◆調査事業

＝衣料の使用実態調査＝

◇2022年度調査の実施分データの解析と報告書の刊行

調査対象者：20校、学生530人
依 頼 日：2022年11月1日
回 収：2023年2月
報告書刊行：2024年1月（トピックス調査とまとめて1冊で刊行）

◇2023年度調査の実施

調査対象者：22校、学生597人、学生の母411人
依 頼 日：2023年11月20日
回 収：2024年2月
報告書刊行：2024年秋予定

＝トピックス調査＝

◇2022年度実施『リクルートファッションについての調査』のデータ解析と報告書の刊行

調査対象者：20校、学生530人
依 頼 日：2022年11月1日

回 収：2023年2月

報告書刊行：2024年1月（衣料の使用実態調査とまとめて1冊で刊行）

＝衣料管理士の就職状況調査＝

調査対象者：2024年3月卒業の衣料管理士取得者

依 頼 日：2024年4月

◆研修事業

◇TA養成教員のブラッシュ・アップ講座

テーマ：新潟地区 繊維関連企業の工場見学

開催日：2024年3月21日（木）～22日（金）

見学先：・オンヨネ株式会社（3月21日）

・新潟染工株式会社（3月22日）

・株式会社ウメダニット（3月22日）

・五泉ニット工業協同組合（3月22日）

※3月21日の地震発生の影響により、21日に予定をしていた記祥織物株式会社
は見学訪問をキャンセル

参加者：25名

◆大学正会員関係

◇年次報告書審査

報告書提出：2023年6月末日

審 査：大学審査プロジェクト（2023年8月3日開催）

第218回常任委員会（2023年4月17日開催）

第219回常任委員会（2023年10月7日開催）

第220回常任委員会（2024年2月16日開催）

結果の通知：2023年12月6日

◇主務教員会議の開催

開催日：2023年12月9日（土）14:00～17:00／懇親会 17:10～19:00

会 場：芝公園フロントタワー 3階「Room A」／懇親会 3階「Room B」

内 容：□講演①「身の回りに迫る物流の2024年問題とは」

株式会社Felice. 脩 井上 美樹代 氏

（元 経済産業省 商務・サービスグループ 消費・流通政策課 課長補佐）

□講演②「令和5年景品表示法改正法について」

前 消費者庁表示対策課 景品・表示調査／現 光和総合法律事務所 弁護士

渡辺 大祐 氏

□調査結果報告（調査部会）

「トピックス調査『リクルートファッションに関する調査』」

藤田 雅夫常任委員会顧問（共立女子大学）

□TA基準の見直しについて

大塚 美智子常任委員会顧問（日本女子大学）

□協会からのお知らせ

・TA養成教員のブラッシュ・アップ講座について

・TES試験学割制度の導入について

出席者：24名

◆『衣料管理士の集い』の活動への支援

- 衣料管理士相互の情報交換
- 勉強会、見学会による自己研さん活動

◇勉強会（オンラインにて開催）

日程	支部	内容
7月27日	関東(オンライン)	Depart de loop ～循環型社会の実現を目指して～
9月1日	関西	骨格スタイルセミナー(関西・中部で2日間開催)
9月2日	中部	
9月27日	関東	基礎シリーズ「染色と染料」
11月2日	関東	ポリウレタン樹脂の基本・応用・耐久性 ～合成皮革に使用されるポリウレタン樹脂を中心に～
2月27日	関西(オンライン)	環境に配慮した靴づくり

◇見学会

日程	支部	内容
10月17日	関西	株式会社ナンガ 見学会
11月17日	3支部合同	株式会社艶金 見学会
2月16日	関西	河田フェザー株式会社 見学会

◆TA交流プロジェクトチームの活動

- 目的: 現場で活躍する衣料管理士が衣料管理士取得の意義、業界で役立った知識などを、衣料管理士を目指す学生に伝え、学生の衣料管理士取得のモチベーションを高め、衣料管理士取得希望者を増やす。
- 発 足: 2017年7月4日
- メンバー: 協会常任委員（衣料管理士資格者）、衣料管理士の集い幹事

◇TA交流会の実施

現場で働く衣料管理士が、学生に対して、仕事内容、これまでの業務経験、TAの知識が役立ったエピソード、TA資格の意義、学生へのアドバイスなどの講演を行っていたが、コロナ禍により一度休止し、2022年度以降は対面ではなく、オンデマンド配信形式で実施している。2023年度は新たに講師2名の動画データを加え、計9名のデータを養成大学24校へ配信した。配信期間は2024年10月15日まで。

◆TAワーキングの活動

- 目的: TAにかかわる課題解決に向けて検討し、これからのTAのあるべき姿を探る。
- 発 足: 2020年10月3日
- メンバー: 大塚美智子常任委員会委員長、牛田智常任委員会副委員長、藤田雅夫常任委員会副委員長、秋浜実和委員、小倉妙子委員、永野孝志委員、濱田仁美委員、諸岡晴美委員、島崎恒藏副会長、TAの集い幹事代表者など(旧メンバー含む・役職はWG発足当時)
- 内 容: TA認定基準の見直しをおこない、2023年12月の主務教員会議にて変更点の報告を行った。新基準は2024年度入学生から適用する。

繊維製品品質管理士 (TES) 関係

◆繊維製品品質管理士(TES)資格の認定・登録

◇新規登録試験 (第42回)

出願者	試験合格者	2023年度認定・登録者
1,448名	300名	299名

◇登録更新試験 (対象：第2期・第7期・第12期・第17期・第22期・第27期・第32期・第37期 T E S)

対象者	2023年度登録更新者	更新率
1,530名	1,231名	80.5%

[1,231名の内訳]

更新試験に合格した者	代替措置の適用が認められた者	更新した者 ／3回以上の更新で合格扱いの者
670名	117名	444／743名

◆代替措置: TES会等の活動に数多く参加したTESは登録更新試験に合格したものと扱う。

◆3回以上の更新で合格扱いの者: 3回以上の更新者は品質管理の実績があるものと認め登録更新試験に合格したものと扱う。

[繊維製品品質管理士の有資格者総数]

8,174名

[2024年4月22日現在]

◆TES制度の広報

■TESポスター・パンフレットを団体・企業・行政機関等へ送付してTES制度の広報依頼

- ・繊維関係の業界団体・検査団体
- ・繊維業界の企業
- ・ネット通販・EC企業
- ・国民生活センター、消費者センター、繊維工業試験場など行政機関
- ・教育機関 (大学・専門学校他)

■専門紙、学会誌などへTES試験実施要項を掲載して広報

- ・織研新聞、繊維ニュース、繊維学会誌、日本繊維製品消費科学会誌等

■企業訪問によるTES広報

企業や団体などの役員、能力・人材開発責任者にTESをPRし、受験の推奨を依頼。

- ・2023年4月九州地区 株式会社エミネント、株式会社東和コーポレーション
株式会社サンワドライ、オザキプリーツ株式会社、株式会社赤ちゃんの城、株式会社ムーンスターを訪問
- ・2023年5月中国地区 (株)桑和、(株)協同、セイショク株式会社、カイトック株式会社、カイハラ株式会社、三陽染工株式会社を訪問
- ・2023年10月中国地区 カイハラ株式会社、明石被服興行株式会社、株式会社トンボ、官公学生服株式会社
- ・2023年11月北陸地区 (株)ユマンテキスタイル、(株)ウエマツ、サカイオーベックス株式会社、東洋染工(株)、カジナイロン(株)、福井経編(株)、ミツカワ(株)を訪問
- ・2023年11月大阪地区 (一社)日本繊維製品消費科学会、協同組合関西ファッション連合、

株式会社大阪西川、公益社団法人日本技術士会を訪問

・2024年1月大阪地区 公益社団法人日本技術士会、一般社団法人日本機械学会、(一社)日本繊維製品消費科学会を訪問

■ SNSによるTES広報

Instagram、X(旧Twitter)にTES試験やTES会、TAの集い、TA養成大学などについて投稿し、情報発信を行った。

◆TES受験テキストの発刊

■ 過去問題集 (3年分) 発刊 (12月)

2021年度～2023年度分をまとめて発刊した。

■ 新改訂版 繊維製品の基礎知識 (全3冊) (11月)

◆TES試験の変更事項

■ 5月20日の出願の受付締め切りを5月30日まで延長した。

◆苦情衣料品収集プロジェクトチーム

JIS L 0001に基づく苦情品収集。今期、収集活動は行っていない。

◆TES将来構想部会

■ 目的：TES 将来構想プロジェクトより部会に変更し、中長期的な視野で、これからのTESのあるべき姿、制度、試験内容などについて検討する。

■ 発 足：2020年12月5日

■ メンバー：永野暁副会長、藤田雅夫副会長、清嶋展弘委員、田中厚三委員、永野孝志委員、住吉弘一委員

■ 検討内容：受験対象者やアパレル関連企業へのアピール、TES 試験用テキストの充実と新情報の提供、TES 制度の見直し、TES 会の運営方法の見直し

■ 開催日： 第11回：5月21日(金) プロジェクトとして開催

第1回：8月20日(日)

第2回：9月17日(日)

第3回：12月17日(日)

第4回：2024年2月10日(土)

◆TES会活動への支援

東日本・中部・西日本・北陸・中国支部および九州会の活動を支援する。

活動内容は、①自己研さん、②TES相互の情報交換、③行政との連携など。

◇研修会、講演会、見学会など自己研さん活動

<東日本支部>

行事	開催日	人数	内 容
年次大会	6月14日	90名	講演：『間違いだらけの洗濯方法、汚れが落ちないわけ』
新会員歓迎会	12月6日	116名	講演：『染色堅牢度について -ソーピングの現場と事故原因・改善方法-』
苦情処理検討会	5月18日	149名	事例検討：①W/N y 装飾ニット(さび) ②レースドッキングブラウス(汚染) 講座：『繊維の特徴～クレーム事例 I』

	7月20日	133名	事例検討：①ダウンコート(ラベルの溶融、剥離) ②ベア天カットソー(汚染) 講座：『繊維の特徴～クレーム事例Ⅱ』
	9月21日	104名	事例検討：①スカートのシミ(生地濃色化) ②ダウンコート劣化(コーティング剥離) 講座：『新衣料サイズJIS開発の経緯と解説』
	11月30日	73名	事例検討：①ポロシャツの変色 ②フェイクスエードスカートのしみ 講演：『アパレルのニューノーマル -3DCADの活用による新たな価値 創造SDGsへの貢献-』
	1月25日	121名	事例検討：①カーディガン(茶色のシミ) ②スカート(裏地のスナッグ) 講演：『海外第三者検品の概要』
	3月 7日	136名	事例検討：①コート(変色) ②パンツ(変色) 講演：『プリントの基礎知識』
クミボウ研	6月22日	13名	見学先：『ムサシノクリーニング所沢工場店』
	9月15日	25名	見学先：『国際クリーニング株式会社 大森工場』
	11月22日	20名	見学先：『銀洋舎』 講演：『ウエディングドレスのクリーニング実演』
	2月22日	47名	講演：『シミの構造』
ライフサイクル研究会	5月25日	96名	講演：『家庭洗濯におけるファブリックケア製品の使用方法と働きについて』
	7月31日	94名	講演：『衣服にまつわるカビについて』
	11月 9日	90名	講演：『国内外の業務事例及び修整と加工の実例について』
	2月 1日	66名	講演：『クリーニングの仕上げと汚れの処理方法について』

<中部支部>

行事	開催日	人数	内 容
年次大会	5月20日	62名	講演：『個から協働へ～ ひとりの問題意識からはじまる問題解決～』
新会員歓迎会	1月27日	46名	講演：『人は見た目が9割！秒で記憶に残るには！？ パーソナルカラーで叶う印象アップの方法』
クレーム事例勉強会	6月23日	41名	講演：『国内外の展開及び修整と加工の実例について』
	8月18日	22名	事例紹介：(一財)カケンテストセンター 事例検討：①ニット 洗濯汚染 ②Tシャツ プリント剥離 ③シャツ 漂白剤による変色
	10月20日	23名	事例紹介：(一財)ニッセンケン品質評価センター 事例検討：①麻混ブルゾン 変退色・汚染 ②Tシャツのプリント部分変色 ③ダウンジャケットの洗濯汚染
	12月15日	21名	事例紹介：(一財)ケケン試験認証センター 事例検討：①コート バブリング ②ニットセーター 変色 ③鞆の内袋破れ
	2月15日	31名	事例紹介：(一財)日本繊維製品品質技術センター 事例検討：①Tシャツ モチーフ脱落 ②ボンディングコートの汚染 ③ダウンJKの黄変
企業見学会	11月17日	11名	見学先：『株式会社小羽皮革 (特殊クリーニング)』

基礎講座セミナー	7月22日	65名	講演：『簡単に捨てられない一着へ』
	9月16日	54名	講演：『変化を続けるアパレル品質管理』
	3月16日	81名	講演：『衣類にまつわるカビについて』

<西日本支部>

行事	開催日	人数	内容
年次大会	5月26日	75名	講演：『サステナブルな社会の実現に向けて』
繊維勉強会 &新会員歓迎会	1月26日	来場46名 リモート21名	講演①：『伝統産業からクリエイティブ産業へ』 講演②：『CFRP製アスリート用義足板バネの研究 開発とその活用技術と将来展望』
品質問題研究会	8月25日	48名	講演：『クリーニング現場で発生している事故事例 と業界を取り巻く課題』 パネルディスカッション：『苦情事例から学ぶ』
	11月17日	34名	講演：『機能性ウェアの開発と評価方法』 グループディスカッション：『苦情事例から学ぶ』
	3月22日	来場31名 リモート33名	講演：『クレームを未然に防ぐ！苦情発生からひも 解く根本原因とその対策』 見学先：(一財)ボーケン品質評価機構 大阪試験センター
繊維勉強会	7月28日	来場42名 リモート33名	講演①：『地球からの贈り物“BANANACLOTH®”』 講演②：『知財で守る・知財を守る～ファッション から見る知的財産の基礎と考え方』
	10月27日	来場59名 リモート47名	講演①：『染色後の表面加工のいろいろ』 講演②：『縫製工場の見るポイント』
工場見学会	9月28日	24名	見学先：『大本染工株式会社』
	12月 8日	18名	見学先：『ユニチカガーメンテック株式会社』
	2月15日	15名	見学先：『森弥毛織株式会社』

<北陸支部>

行事	開催日	人数	内容
年次大会	6月24日	来場31名 リモート45名	講演①：『豊かな生活を担う繊維産業における技術 開発に向けて』 講演②：『オリンピックとスポーツウェア』
新会員歓迎 会・特別講演 会	12月 9日	来場46名 リモート21名	講演①：『工業用ミシン針の基礎と縫製トラブル 対策』 講演②：『超臨界染色研究の現段階』
品質と技術 に関する講 演会	4月22日	来場25名 リモート69名	講演①：『コインランドリー機について』 講演②：『スポーツウェア開発技術のワークウェア への応用』
技術に関する 特別講演 会	10月14日	来場22名 リモート60名	講演①：『有機フッ素化合物(PFAS)の学理再構築 に向けて』 講演②：『(酵素)セルラーゼの新たなる可能性 ～衣類ケアとサステナビリティを両立 した衣料用洗剤・柔軟剤～』
工場見学会	9月 8日	30名	見学先：北陸デジタルものづくりセンター
繊維製品品 質管理基礎 講座①	3月 2日	20名	事例検討：①スキーウェアのシワ発生 ②ベア天ボーダーカットソーの波うち ③綿ワイシャツのストライプ柄一部消失 ④ストレッチ性のあるスラックスの変色 ⑤天竺ラガーシャツの店頭変色 ⑥2WAYストレッチ織物のタテ筋発生

繊維製品品質管理基礎講座②	3月23日	30名	講演：『苦情事例の原因と対策について』
---------------	-------	-----	---------------------

< 中国支部 >

行事	開催日	人数	内 容
年次大会 勉強会	5月27日	32名	講演①：『変化を続けるアパレルの品質管理』 講演②：『テキスタイルメーカーがサンプル工場 立ち上げ・人材育成』
試験機実習	6月15日	4名	見学先：『倉敷市繊維技術センター』
勉強会	7月22日	25名	講演①：『STAND BY WORKER ワークウェアの現状』 講演②：『新JIS規格サイズ表示について』
勉強会	9月16日	29名	講演①：『繊維の機能性加工剤について』 講演②：『紳士服のマーケティング戦略とものづくり の向かう道』
工場見学会	10月20日	16名	見学先：『株式会社岡山ランドリー 築港事業所』
新会員歓迎会 勉強会	11月18日	17名	講演：『接着芯地の基礎知識及び付属についての 問題事例と改善策 接着芯地編』
勉強会	2月17日	15名	講演①：『繊維産地継承プロジェクト』 講演②：『繊維製品の苦情はなぜ無くならない のか？』

< 九州会 >

行事	開催日	人数	内 容
工場見学会	5月29日	16名	見学先：『株式会社ムーンスター』
講演会	6月30日	15名	講演：『新衣料サイズJIS開発の経緯と解説』
工場見学会	9月 5日	10名	見学先：『オザキプリーツ株式会社』第1回
	10月 3日	10名	見学先：『オザキプリーツ株式会社』第2回

◇経済産業省生活製品課とT E S 会代表幹事との情報交換会

2023年度T E S 会代表幹事会(2024年3月6日)開催時に訪問、情報交換会を実施。

◇『T E S 会通信』の発行(偶数月)

T E S 会各支部の行事の案内および開催結果報告をまとめ、T E S 会員へ情報提供する。

その他の活動

◆会報の発行

- ・第200号(4月1日発行)
- ・第201号(7月1日発行)
- ・第202号(10月1日発行)
- ・第203号(2024年1月1日発行)

◆『ミニ情報』の発行

- ・第40巻1号(4月1日発行)
- ・第40巻2号(6月1日発行)
- ・第40巻3号(8月1日発行)

- ・第40巻4号（10月1日発行）
- ・第40巻5号（12月1日発行）
- ・第40巻6号（2024年2月2日発行）

購読資格：会員限定

内 容：行政〔経済産業省、消費者庁、内閣府、文部科学省等の関係情報〕

抄録〔規格関係・素材・加工・アパレル・流通・クリーニング・消費・クレーム
・品質管理の分野の最新情報〕

行事〔学会、団体、業界等が主催する行事の情報〕

発 行：偶数月の1日

◆関係団体との連携

- 繊維の製造・加工・流通関係団体（全国・地方）、（一社）日本繊維製品消費科学会、
一般社団法人日本繊維機械学会 公益社団法人日本技術士会との連携